



オカピジキ

～ミネラル豊富な緑の海藻～

イラスト：小林祐美子

オカピジキのプロフィール

【分類】ヒコ科オカピジキ属

【原産地】日本、中国、欧州南西部

【おいしい時期(旬)】4～10月ころ

【主な栄養成分】カリウム、カルシウム、マグネシウム、鉄、β-カロテンなど



見分け方

全体が濃い緑色の鮮やかで濃い

葉や茎に張りつやがある

みずみずしく、舌で触ると滑りやすい

茎が細くて短く、お刺身ではないものが良品

NG

鮮度が落ちている

葉の切り口が茶色く変色、全体に黄色味を帯びている

茎が太過ぎると全体が太く大き過ぎる

青臭過ぎると硬くなり食味も落ちるよ

オカピジキのヒミツ

歴史

『本草綱目拾遺(1228年)』

海辺の砂地で育つ海藻として紹介されています

江戸時代



名の由来

(葉の様子)がピジキに似ている? 「おかし」に生えるピジキという意味。別名はミルナ(水糞菜)の。海苔のミル(水糞)に似ているから

栽培

育ち付きにいい性質の通常の栽培ではほとんど着実を便さない。安心して食べられる

山形県星島地方の伝統野菜

庄内地方の浜で取れた種が船で最上川上り船着き島の砂浜村(現山形県麻植市)で植えられ発祥の地となった。現在山形市や米沢市で栽培が盛ん

保存方法



早めに食べたいのなら、冷蔵保存が基本。鮮度が命のなるべく早く使いたいのなら

野菜室へ乾燥を防ぐため、ラップや保存袋に入れる

オカピジキのチカラ

ミネラル豊富

カリウム
体の余分な水分や塩分を排出する働き。高血圧予防やむくみ解消に

カルシウム
骨や歯の材料の種を溜め蓄積させる働き。骨密度アップのサポート

鉄
ヘモグロビンの材料。赤血球と共に貧血予防

β-カロテン
抗酸化作用で肌・髪・視力などの老化を予防。免疫力アップ

栄養価の高い「スーパーフード」の仲間

不足しがちな栄養素を効果的に取れる



マグネシウム
ビタミンBと共に骨を強化

楽しみ方・食べ方のコツ



下ゆですると味や香りは癖がなく食べやすい

お刺身やお酒、汁物に

お肉のつよ



約2%の塩水

加熱し過ぎると食感が損なわれるので注意

根元を切り落とし、カルシウムが豊富な海水に30分、塩水が取り除かれるようにする